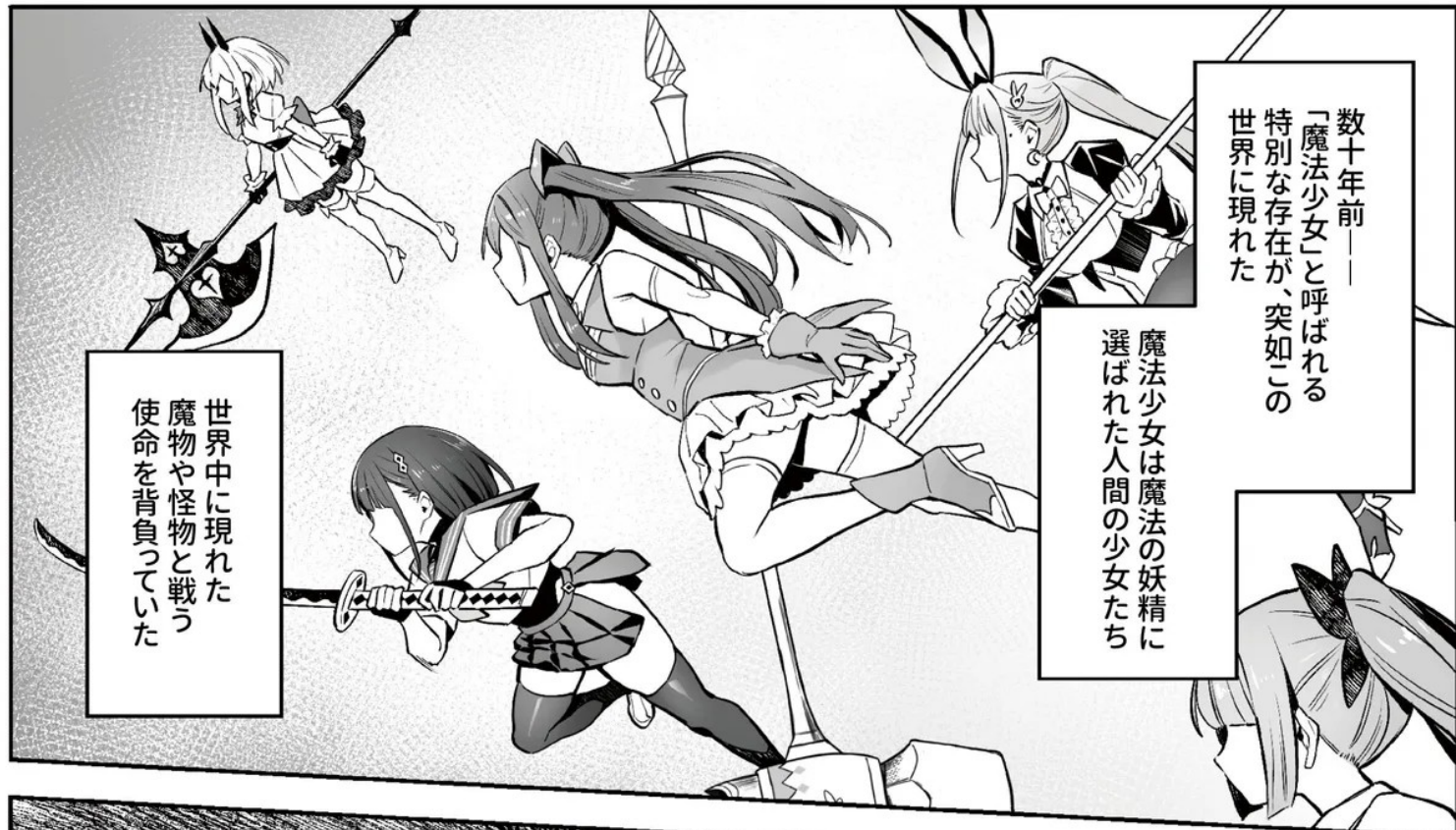








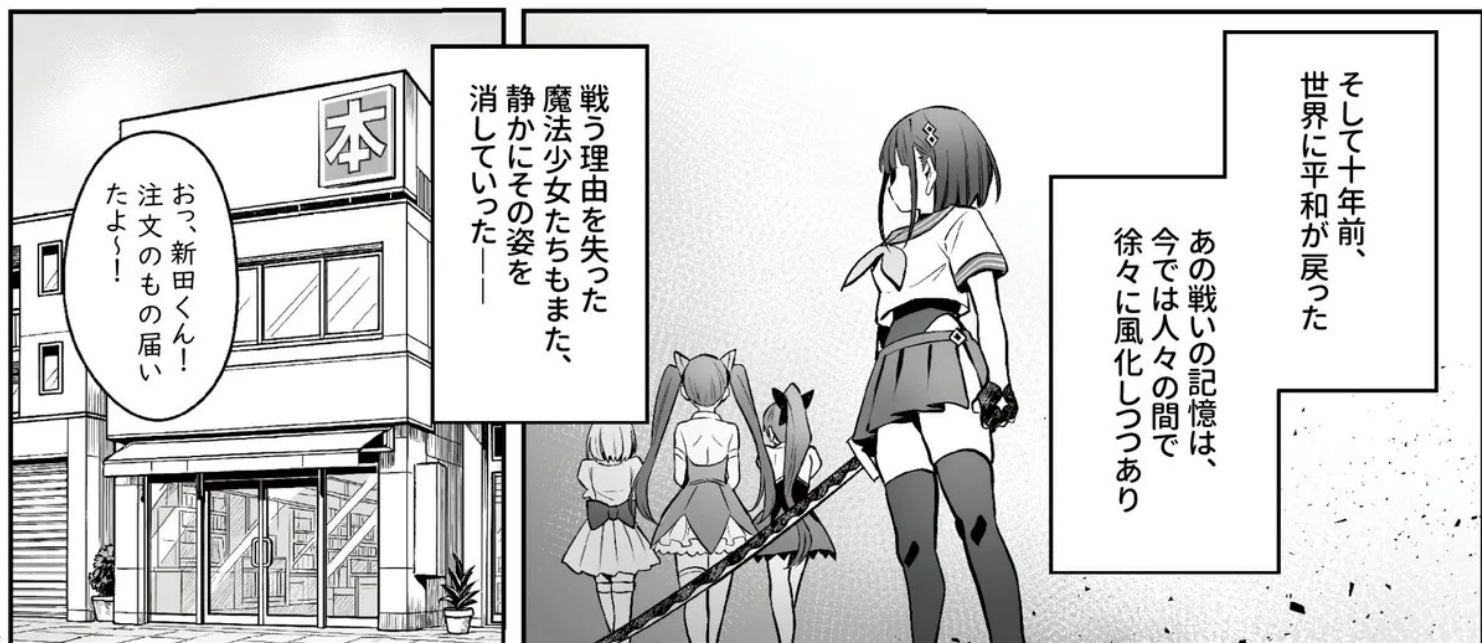
数十年前——
「魔法少女」と呼ばれる
特別な存在が、突如この
世界に現れた

魔法少女は魔法の妖精に
選ばれた人間の少女たち

世界中に現れた
魔物や怪物と戦う
使命を背負っていた



長きにわたる激戦の末——
魔法少女たちは、人類を脅かす
すべての災厄を打ち倒した



そして十年前、
世界に平和が戻った

あの戦いの記憶は、
今では人々の間で
徐々に風化しつつあり

戦う理由を失った
魔法少女たちもまた、
静かにその姿を
消していった——

おっ、新田くん！
注文のもの届い
たよー！





どうして分からないのですか？



魔法少女なんてもうとくに終わって、グッズも何年も前に生産終了。今となっちゃ廃盤モノしか手に入らないのに…

しかも黄色の子しか集めてないっていうし…

…あんなに夢中なやつ、ほんと珍しいよ



…まあ、ぼくには全然わかんないけど

まさかこのアの名言まで…

月見柚月はぼくの母になってくれるかもしれない女性ですよ！



あつ！
そうだ！

今夜は用事あるんだって！そろそろ行かないと！



店長、今日はありがとう！また来るね！

月見柚月関連のグッズ入ったら、絶対！すぐ！教えてくださいね！

はいはい、良いの入ったらすぐ連絡するよ

毎度あり！



彼女は初代魔法少女として登場して、

しかも衣装はバニーガール風魔法少女スタイル！この大胆すぎるコンセプト、マジで神だった！

少女時代から見せてた、優しさ、上品さ、そして包容力…

そのギャップから生まれる「母性の輝き」！それこそが最大の魅力なんだってば！

そこまで細かく語れるとは…ほんとにガチ勢だね



父さんはな…
再婚することに
決めたんだ

まずは、君にお相手
を紹介しておこう
月見さんだ

悠真くんのこと、
お父さんからいろいろ
聞いているのよ

つまり、
彼女が君の新しい
「母親」になるー

彼女とは半年前に
知り合ったんだ
真面目で、とても
信頼できる女性だ

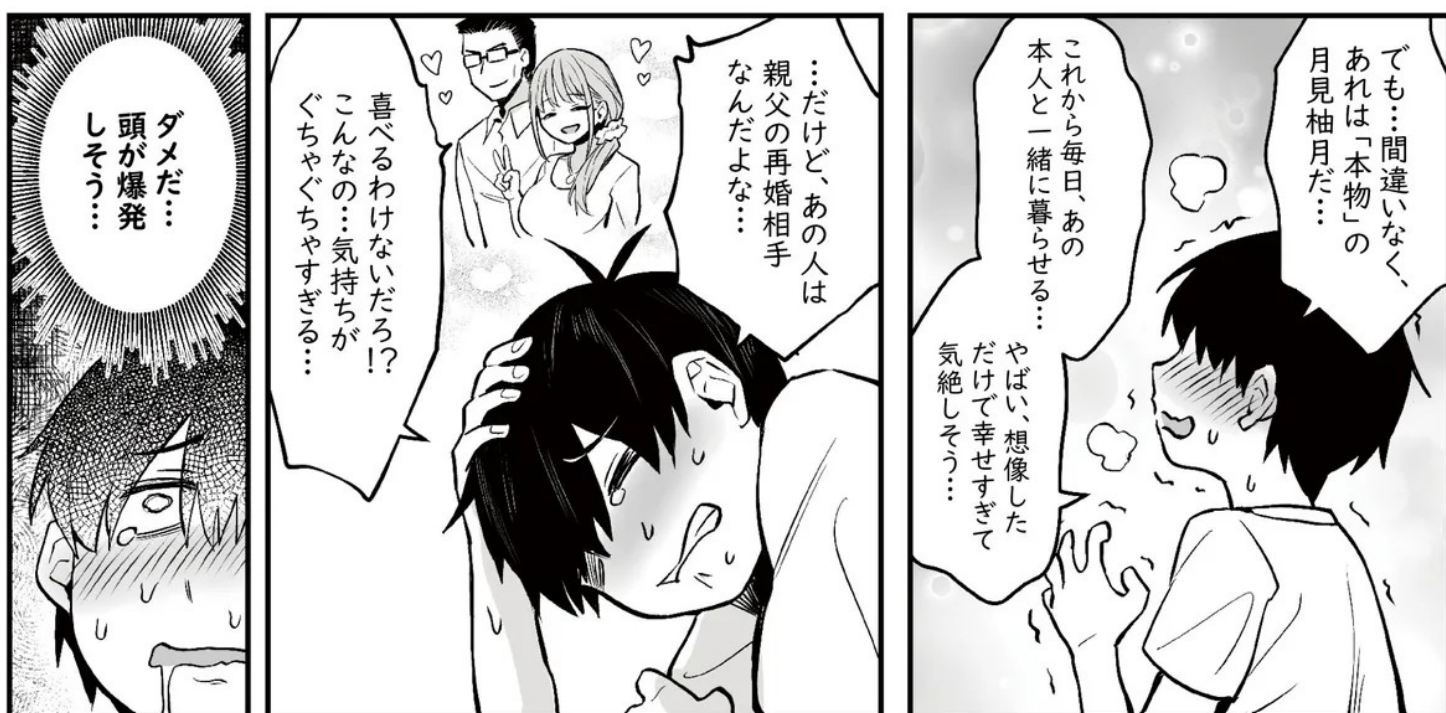
君は幼い頃に母親を
亡くして、ずっと
ひとりで頑張ってきた

父さんも仕事柄、
いつも飛び回っていて
なかなか君とちゃんと
過ごせなかった…

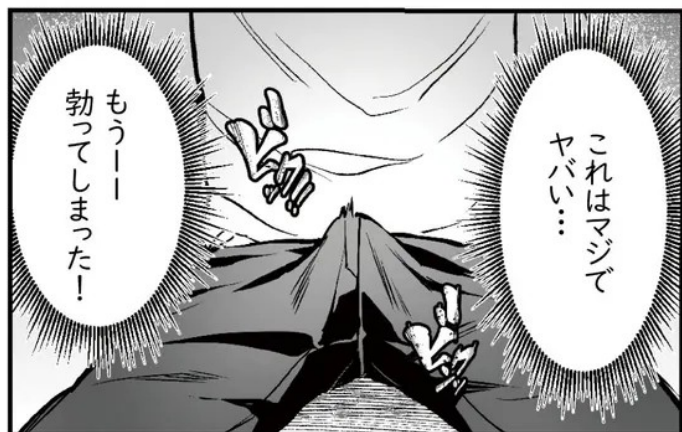
君のことをしっかり見て
くれる人が必要だと
思っただから、
本気で再婚を決意した

今日から彼女は、
うちで一緒に
暮らすことになる

うわーやーやー…
明後日から一か月の出
張に出る。
その間、月見さんと仲
良くしてくれよ！







月見さんとの生活が始まって、
もう一週間が経った

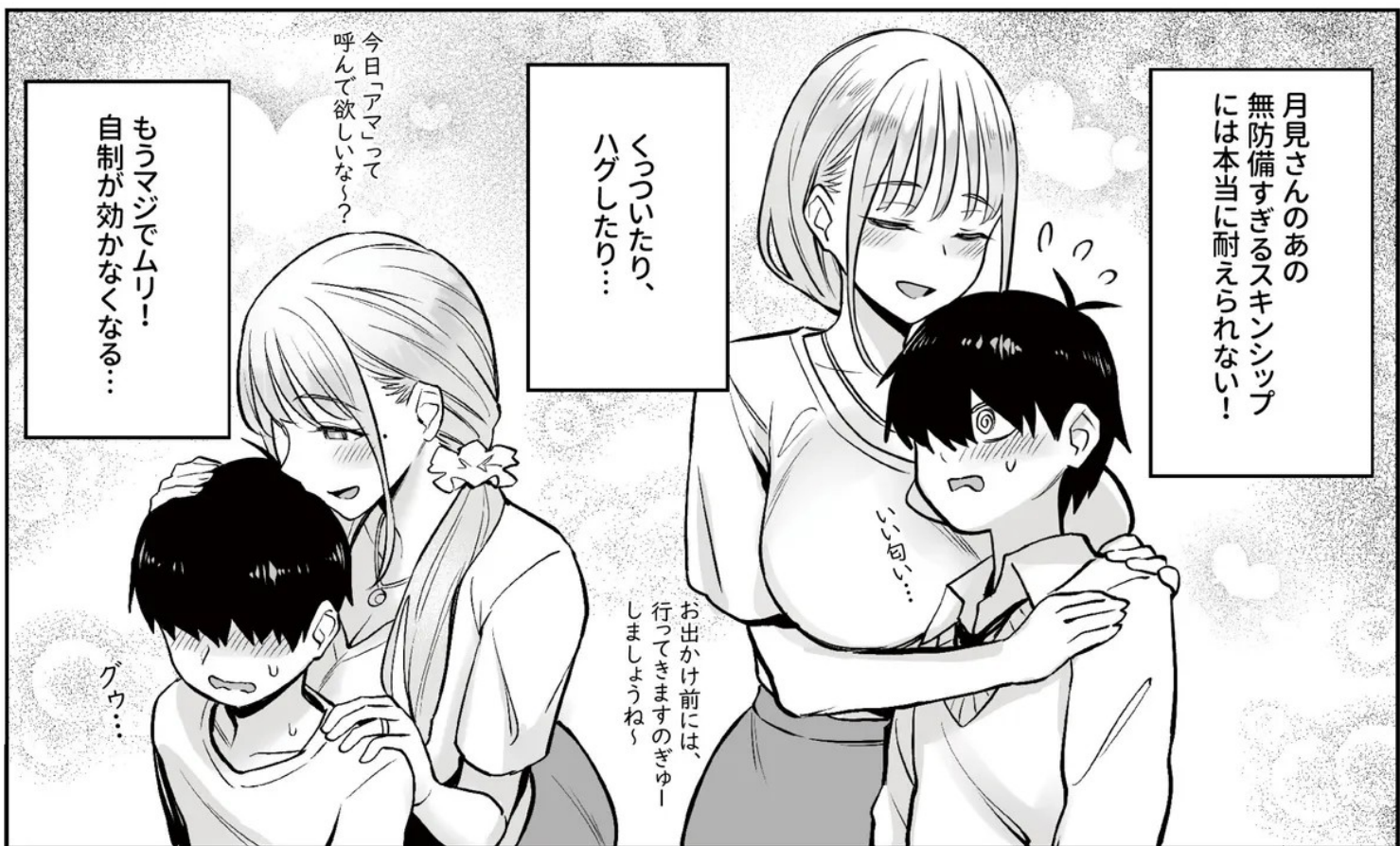
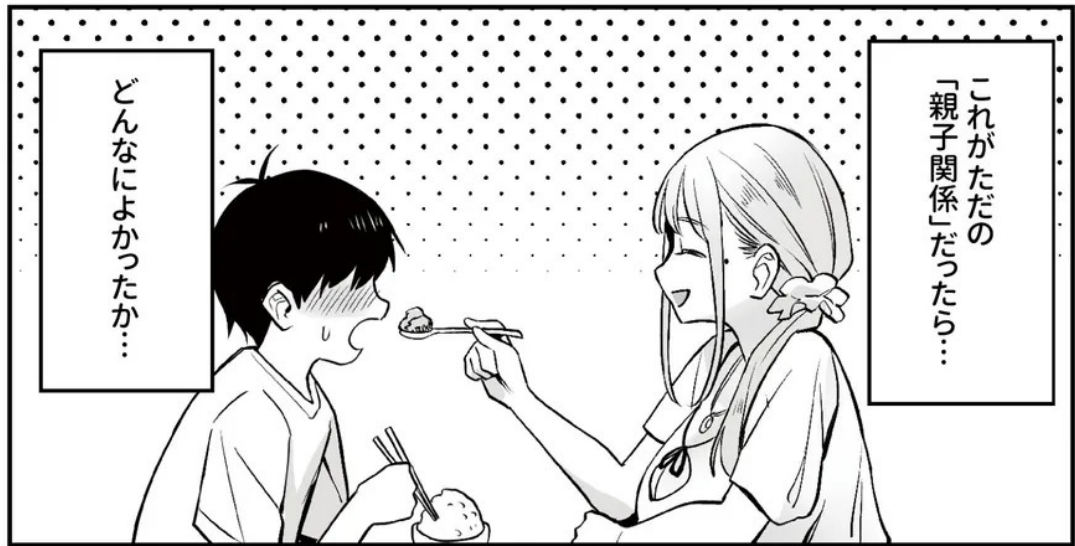
まだ少し緊張するけど、
こんな日常にも
少しずつ慣れてきたー

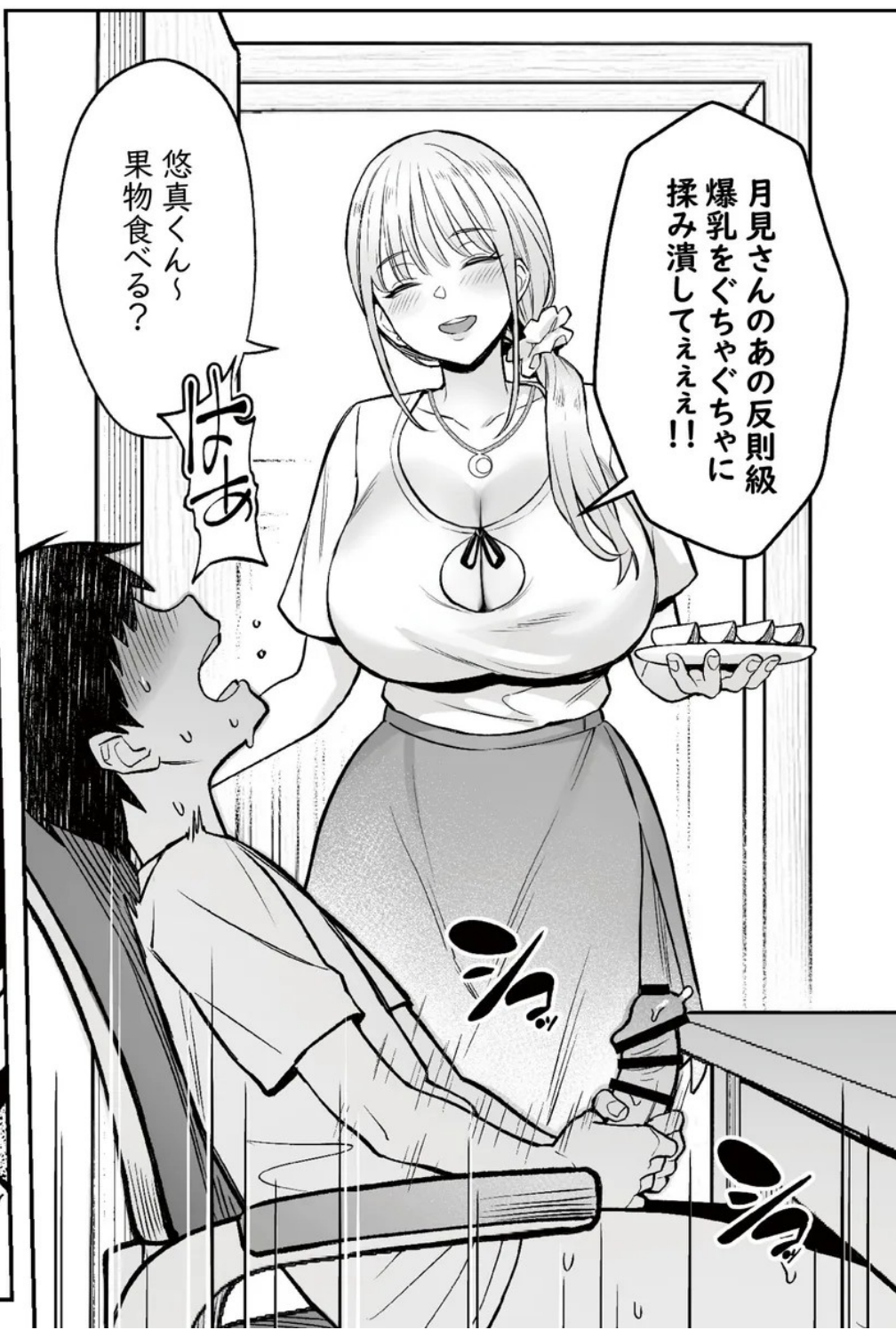
母親としての振る舞いも
完璧で、家事もきちんとして
くれている

本当のお母さんみたいに、
優しく生活を支えてくれる…

毎日こんなに
至れり尽くせりで…

まるで
夢のような気分だ







でも…悠真くんが
こんなに当時の私を
大事に思ってくれて、
あれだけたくさんの
グッズを集めてくれる
のを見て…



……ちよつと、
恥ずかしいけどね

本当はね、
悠真くんには私が
「魔法少女」だったって
こと、言つつもりは
なかったの…



なるほど…悠真くんは
前からずつと…
私のファンだったのね



あー終わった…
完全に終わった…

ぼく、もうこの家で
生きていけないよ…



はち♡

だから…
その…もしね、
悠真くんが…
良ければ…

ちよつと……
触ってみないか？
私の…おっぱいを…

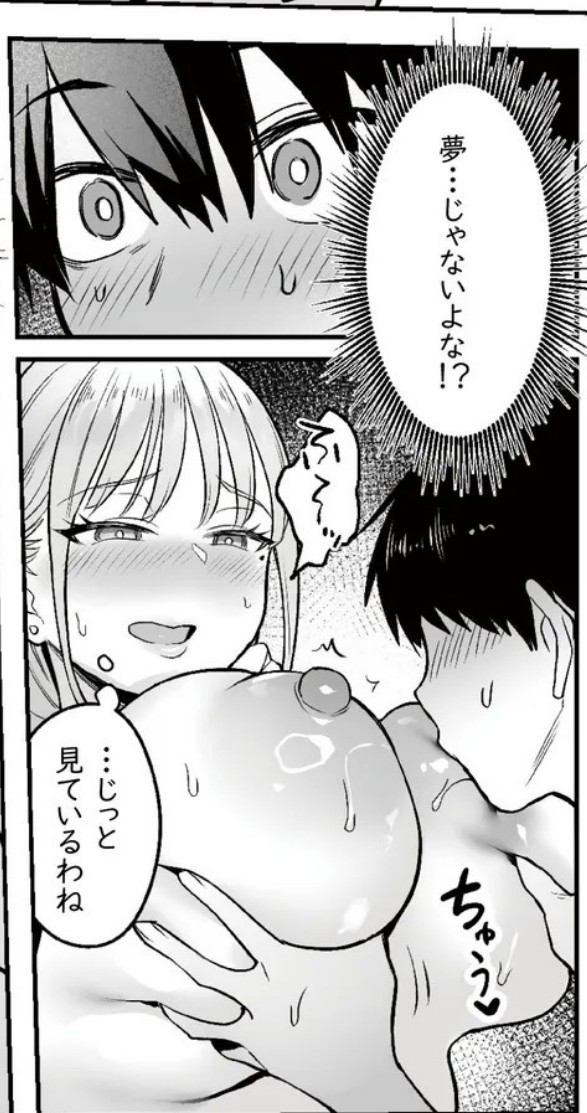
はち♡

ぶるん♡



正直…
すごく
嬉しかったよ

え…？







どきどき

んっ

んっ

んっ

んっ

おいでー
抱っこしよう♡

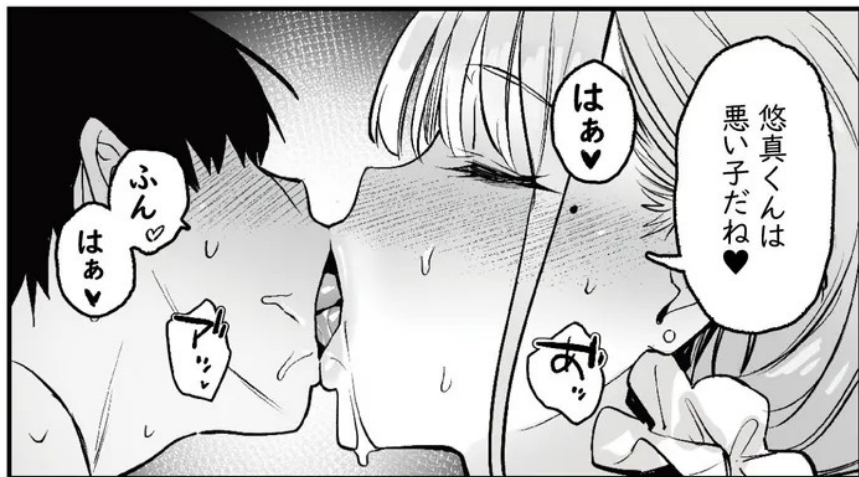
これは...
夢なのか?

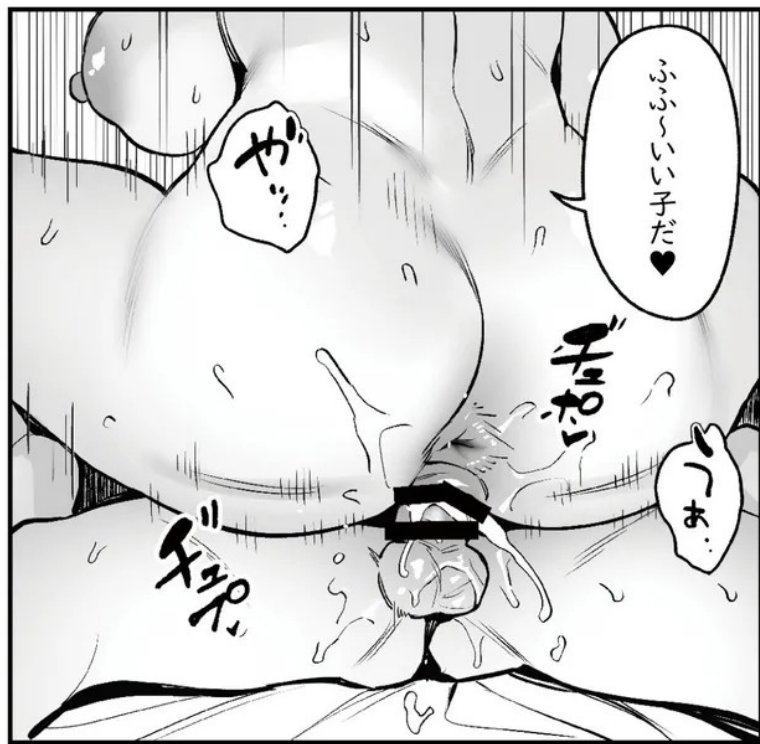
ママ(押し)が...
全裸で目の前にいる















腰振りが激しい…
我慢できない…!!



一番敏感な
ところに押し上げてる

もっど…
ちようだい…♡



イク……♡

はあああん♡

ああああ
イク…いっちゃん…♡



私も…
いっちゃん♡
全部…ママの
中に出して♡



ずっと懂れてる人とエッチ
出来るなんて...

ああ...いっぱい...
出しちゃったね♡

はああ...
もう出ない...

す...す...
す...す...



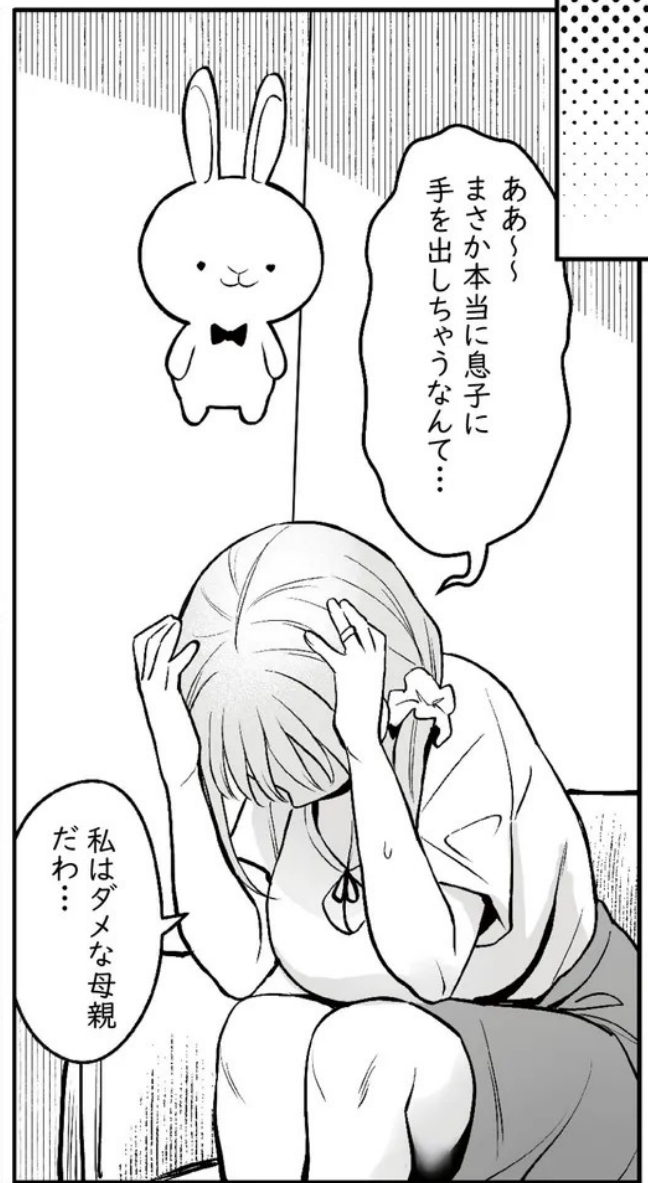
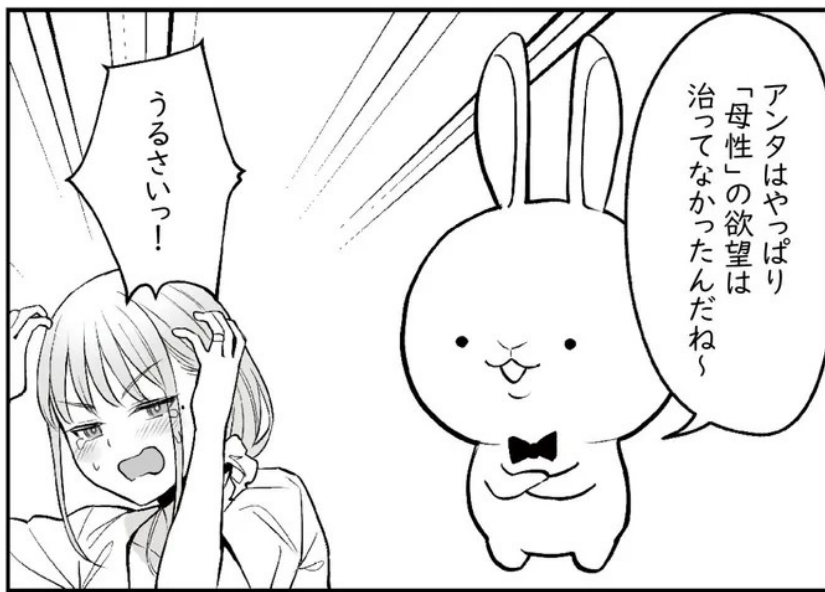
こんな幸せな日々、
一度試してたら...

もう普通な生活に戻れ
ない...

すごい量...さっきも
いっぱい出したはずなのに...

本当に...
いけない子だね♡

この後まだ三回やってた





CHARACTER

現在



昔
(十年前)



新田悠真

ごく普通の中○生であり、筋金入りの魔法少女オタク。

黄色の魔法少女「月見柚月」の熱狂的なファンで、彼女に関するグッズはほとんどすべて収集している。

なぜそこまで月見柚月に心惹かれているのか、その理由は――。

月見柚月

「元」魔法少女であり、人類女性として史上最初に魔法少女となった存在。人々からは「始まりの月」として尊称されている。

穏やかで優しい性格は常に周囲に安心感を与え、数多くの後輩魔法少女たちから頼られ、敬われる存在でもある。しかし、その温和な外見の裏には、母性的本能が怪物的なまでに歪んだ姿で潜んでいる。

強烈な保護欲と独占欲こそが、彼女が魔法少女になった後に増幅された主要な欲望である。普段から子供の世話を好み、特に年下の少年を可愛がる傾向が強い。

そのため、彼女が年上の男性を伴侶に選んだ際には、古くから彼女を知る者たちの間で大きな驚きと困惑を呼ぶこととなった。



ラビー

高次元から来た魔法の生物。

見た目はかなり怪しいマスコット、少女たちを勧誘し魔法少女になる契約を結ばせ。

魔法少女になったら18歳までは契約の強制力で人類の脅威と戦うことを義務つけられる。

常にどこか茶化した軽い口調で話す。かつては幼い口調を装って月見に契約を結ばせた経緯があり、屑めいた一面を持つマスコットである。

後書き

どうも、珍緑です！この本を手にとってくださって、本当にありがとうございます～。

今回の作品は『元魔法少女』シリーズの三人目のヒロイン登場回になります。

黄色の魔法少女の話は、実はずっと前から頭の中であって、昔から「おねショタ」のネタを一度やってみたいな～と考えていたんですが、

今回は「人妻テーマ」にピッタリだ！と思って、そのまま突っ走ってみました。

……ただ、プロットとキャラデザをまとめた時点で残り時間がほとんどなくて、

本当はもっと描き込みたかったシーンや展開をいくつも削ることになったちゃいました。

柚月さんにはまだまだ掘れる要素がいっぱいあるのに、出し切れなかったのがちょっと悔しいですね。

その辺は、いずれ続編でフォローできればと思ってます！

毎度のことですが、描きたいものが多すぎて全然追いつかない……。

少しでも作画スピードを上げられるように頑張ります！

改めて、ここまで読んでくださった皆さんに感謝です。

楽しんでいただけたら嬉しいです、これからもぜひよろしくお願いします～！

発行	COMEX
代表	AFONG (@AFONG_CP)
作者	珍緑
発行日	2025 年 8 月
協力	瑞氏
印刷	大陽出版

サークル情報





月

元魔法少女の家族話

R18
ADULT ONLY

MOTO MAHOU SHOUJO NO KAZOKU BANASHI TSUKI



爆発した母性の

暴走が

止まらない♡